第65号 2019年1月1日 (1)

新しい役割です。

を12月にしました。話題の中心

昨年最後の3病院連携の会

日頃から意識的に交流していま

敷医療生協3病院のトップ達は

地域のご期待に応えるべく倉

3病院の結束

はそれぞれの日常生活圏域での

No.65 2019年1月号

倉敷医療生活協同組合 プリハビリテーション病院 〒712-8057 倉敷市水島東千鳥町1-60

TEL 086-444-3212

老人保健施設 老健あかね TEL 086-446-6541

〜去年の「災」から今年は「再」へ〜

院長 鍛本真

郎郎

す。今年もリハビリ技術を向「再生」を手伝う医療が語源で じつはリハビリとは健康や暮ら したが、今年の希望は「再」です。平成最後の漢字は「災」で 上させ地域に役立てます。 し方に不自由を負っても、その

真備地区の水害

雨では病院や老健も被災したさて、昨年7月の西日本豪 ことは全国的に報道されまし **所も被災しました。** た。 。 我々同胞の真備歯科診療

として活躍しました。当院はリ 病院も地元医師会のリーダー 全国から医師応援を受け被災 院患者さんの診療にあたりま 者の診療にあたり、玉島協同 中心となった水島協同病院は 院も数百人規模の避難者、 支援をし、老健あかねは入浴 ハビリの立場で避難所の障害者 した。3病院とは水島協同病 施設を提供しました。 そこで倉敷医療生協の3病 玉島協同病院と当院です。

> 命です。なによりも人が孤立せ 続可能な生活を保つことが使 活かし障害者、要介護者の持

健やかに暮らす社会に貢献

いです。当院はリハビリ技術を地域づくりは医療生協の願

視野にあります。

(まとめ)

病院に求められる防災計画 があります。これを活用しる 合員理事によるつながりマップ

すでに
倉敷医療生協では



地元町内会と小地域ケア会議

3 病院連携の会

突然の発病

思いが強くあり、ご家族もそ の、Aさんは「家に帰りたい」 活に困ることはなかったもの の食事や入浴の支援など、生 住宅に入居されました。3度 は諦めてサービス付き高齢者 のこともあり、自宅での生活 回復されましたが一人暮らし るところを発見され入院とな ブルトイレを使用できるまで れました。そんな頃、ご家 思いが痛いほど分かってお ·ました。リハビリでポータ Aさんは脳卒中で倒れてい

> ているので老健あかねに入れ族からリハビリしたいと言っ ないかと相談がありました。

かもしれない〟を目標にリハ 、トイレまで行けたら帰れる

まって1年。自分では3年も

「病気になって家を離れてし

やっと帰れる」

まった家に一人で暮らし、畑た後も思い出がいっぱい詰

仕事が楽しみでした。

が生活に困らないように考え 病気で車いすが必要だった妻 があり自分で家を建てました。

Aさんは大工で働いた経験

老健あかね

リハビリ合宿の成果

施設から再びわが家

て建てた家です。妻が亡くなっ

りたい」と強く希望され、私さんは「自分が建てた家に帰 ました。その結果、固定式歩 とにしました。リハ医の金丸 に帰る」ことを目標に本人と 医師の毎週診察、リハビリス 持久力が低下し、とても家に 行器を使用してトイレまで行 スタッフも自主トレを支援し タッフよる筋トレ、看護介護 たちも「トイレが自立して家 いと思いました。しかし、A 帰ることを考えることは難し きは、長期間の廃用で筋力や 一緒にリハビリを取り組むこ 老健あかねに入所されたと

その日が近づいています。

リハ医と自宅訪問

住民主体の介護予防「にんにんサロン」 (於コープリハ会議室)

確認しました。

を見て、もう一度家に帰って みてもいいかもと気持ちが わっていかれました。 れていましたが、Aさんの姿 娘さんも私たちと同じように みておられました。 ·とても家は難しい」と言わ 娘さんが心配そうに様子を 入所時、

Aさん、娘さんと自宅に帰っ

り、家のトイレまでの移動をん、スタッフと一緒に家に帰 自信をつけるために、娘さ



家の暮らしを見きわめる金丸医師

を確認しているからだと思い きた場にお邪魔し、 老健あかね 理学療法士

大野 藤原

明子 珠美

もてるのはこれまで生活して 家族の思いをお聴きします。自宅訪問へ同行し、本人やご よそにいたような気がする。 自宅生活を想定した関わりが たい」と笑顔で話すAさん。 自分でお茶を入れて食事がし やっと帰れる。まず、家に帰っ て、配食のお弁当がきたら、 老健あかねでは金丸医師も 生活動作

娘さんが本人の動きを見て安心している様子

たもの

退院には不安も

りまし

0)

生活を想定し、

の動きが改善し、自信が戻っ助が必要な状況でした。体身麻痺があり生活全般に介嚥下機能障害に加え、左半

に入院。当 プリハビリテー

一初は

は意識障害や

期 事

?病院での加療後、コー?例は脳出血を発症し急

な実 ま

が

出来ず

困っていま

老健あかね いただきました。

介護福祉士

玉

を

職したいと言う嬉

言い言

って、

したが、

日を追う毎に

本

0) 自

分たち

に戸惑いがあり、ました。最初は、

、なかなか思うよういがあり、緊張も相。最初は、関わり方

相方れ

卒業後は、お互い感極

互い感極まっていました。 は実習生も利用者さんも、

ぜひあか

ねに就

利

用

者さんを受け持ちさ

アプラン実施までの実習で、

H

間、老健あかねへ実習に 生3名が10月22日から13

中

央高校

福祉

0

シ用明

者さんとのコミュニケー るさが本領発揮され、

利

5

れました。2年生はケ

ようになりました。

最終日

に図れる

ョンがスムーズに

人院中の医療の質を向上させる 69 倉敷脳卒中リハ地域連携会にて発表 目宅訪問の実践報告 5

とで、

入院中の質を上げら

実際の家での様子を見るこ

第

五福

B

小学校

合唱・

演

奏会

質も上

がらないからです

第 回

家族が安心して自宅へ戻れ

るように努めていきます。

コープリハビリテーション病院

さんと引率

中の先生

方 生

が 0)

来ら

福

学校5年

田月

1

老

あ

理学療法士

会館で行われている音楽祭れました。毎年、倉敷市民

な取り組みを継続し、

ています。今後もこのよう れる貴重な取り組みと考え

雅司 ハビリテー ョン病院 倉 移

事に職 した。 は外来リハへ通い、 解消しました。退院後 での 何度も行 宅内の移 場復帰できま 実践的な動き 動など、 駅 0 不安を 階 無 院

紹介と入院中の複数回自宅帰と職場復帰に至った事例保された地域連携会(10月

復帰に至った事例当院より自宅復地域連携会(10月

岩本

シ

リハビリの報告をしました。

宅

わる理由は、家での暮ります。そこまでこだ以上かかる場合もあ 自宅も含む 以事地 した。 らしを見なけ 地域や市・ 闇雲となり、医中にどう関わる 昨 時には片道1時間 年は 移動範囲 240 め 回 た その 内は勿論の よう 四は水島 行実 い践 入 ま 的

発症(脳卒中、頚部骨折など) . . 環境の調整 患者・家族に応じたリハビリ 早期に 病状評価

その

歌声と演奏には魅了さ

ました。

練習の成果もあり、

ている利用者さんもおられが明るくなり、握手を求めいの生徒さんたちに一気に場

急性期病院 コープリハビリテーション病院





五福小学校との世代交流はますます活発

ちらから聞こえてきて嬉 「上手だったよ。」とあちらこ 楽を楽しまれていました。 り身体を揺らしたりして音

は、手でリズムをとっていた

いました。そして合奏の時 を流している方もいらっしゃ れ、合唱の時には感動で涙

奏が終わると「ありがとう。

○お問い合わせ先 **倉敷医療生活協同組合**

-プリハビリテーション病院 老人保健施設老健あかね TEL 086-444-3212 (代表)

平 日9:00~16:30 土曜日9:00~12:00 (日祝・年末年始を除く)

〒 712-8057 倉敷市水島東千鳥町 1-60 ホームページ

http://coopreha.jp/ メールアドレス info@coopreha.jp

広報委員会 発行責任者 笹舘 勝人

コープリハビリテ ーション病院 老健あかね 外来受付時間 8:30~12:00 [086-446-6541] [086-444-3212] 短時間 短期集中 装具 通所 外来 歯科 诵所 健幸アップ 問 リハビリ 外来 教室 リハビリ ij ハビリ 診療時間 午前 14:30-9:00~ 9:30-9:00-午後 9:00~ 16:50 11:00 16:00 15:00 12:30 月 \bigcirc \bigcirc 火 ○ O (予約制) (予約制) (予約制) 渡辺 \bigcirc \bigcirc \bigcirc 水 \bigcirc \bigcirc 飯塚 \bigcirc 〇 (予約制) \bigcirc 木 \bigcirc \bigcirc 太田 金 \bigcirc \bigcirc 飯塚 \bigcirc 土 \bigcirc \bigcirc

医療福祉相談・連携室		
相談 受付時間	平日	9:00~12:00 13:30~16:30
	土曜日	9:00~12:00
	日·祝日	休み

声を聞かせに そうな利 て下さいね。 たちの た。 老健あか ほっこり 介護福 短 時

せてくださいました。

笑顔が素敵で元気

べいっぱ

で披露した歌と合奏を聞

か

非また素敵な歌 出来ました。是 素敵なひととき でしたがとても 多英 し ま %を見 間





無料低額診療事業・介護老人保健施設利用事業を行っています。